

## 山陰各地で撮影進む

米インターネット検索大手のグーグルが捉といた、今後、両県で撮影している「ストリートビュー」の撮影車が、山陰各地で相次いで目撃され、話題となっている。同社日本法人も「10月から島根、鳥取」

両県で撮影している「ストリートビュー」の撮影車が、山陰各地で相次いで目撃され、話題となっている。同社日本法人も「10月から島根、鳥取」

両県で撮影している「ストリートビュー」の撮影車が、山陰各地で相次いで目撃され、話題となっている。同社日本法人も「10月から島根、鳥取」



山陰各地で目撃され、話題となっているストリートビューの撮影車—松江市春日町

## 専用車目撃相次ぐ 公開時期は未定

市)をはじめ36カ所の観光施設で内部などを

見ることができ、鳥取県は鳥取大湖山キャンパスと乾燥地研究センター(鳥取市)で公開。しかし、道路沿いの景色が見られる通常のサービスは提供が遅れており、中国地方では山陰両県が取り残されている。

撮影車は、屋根に15台のカメラを収めた青い球体を搭載。撮影時は支柱を伸ばし、球体カメラを高さ約2.5



ストリートビュー クリック

メートルに上げ、360度のパノラマ写真を撮っている。鮮明な画像を撮るため、走行は晴天時に限っているという。その様子は松江市や米子市など中海圏をはじめ、大田市などでも目撃され、ブログで紹介する人もいるなど関心は高い。

同社日本法人広報部マネジャーの富永紗くらさん(33)は「公開時期は未定だが、サービスが始まれば世界中の利用者に山陰の美しい風景を見てもらえることができる」と話した。

2007年から始まったインターネット上のサービス。グーグルマップにペグマンと呼ばれるアイコンを落とすと、その位置の景色が360度のパノラマ画像で現れる。実際に現地で写真撮影されたもので、居ながらにして国内や世界各地の町並みを見ることができ